

# 学 習 指 導 案

北海道芽室高等学校

令和4年11月18日(金) 4校時 対象 2年A組					
教科：国語 科目：現代文B		教科担任氏名：粒針 里穂			
使用教科書名：精選現代文B新訂版 (出版社名 大修館書店)					
単元：おすすめの本をわかりやすく紹介しよう		単元の指導計画 別紙「学習指導計画」参照(本時は6時間中の6時間目)			
単元の指導目標 別紙「学習指導計画」参照					
本時の指導目標 自分の行った本の紹介について振り返り、聞き手にとって分かりやすい話し方を理解する。					
<b>指 導 過 程</b>					
段階	時間	指導内容	学 習 活 動	指導上の留意点	評 価
導入	5分	発表準備と聞き取りシート配布	各自、発表の準備を行う。 聞き取りシートに名前を記入する。	聴衆は分かりやすさの観点で点数をつけ、最後に最も読みたくなった本の紹介者を選ぶことを伝える。	
展開	30分	発表	1人1分間で本の紹介を行う。 聴衆は以下の観点で点数をつける。	終わったら話し手は簡単に反省事項を記入する。	「行動の分析」 発表内容で以下の点を評価する。 ・分かりやすさの観点
<p>「分かりやすさ」の観点：          ※評価規準：B(3点)を基本とし、各項目で以下に該当する生徒をA(4~5点)、Bに達しない生徒をC(1~2点)とする。</p> <p>①聞き手を意識した構成          A → あらすじやポイントがわかり、聞き手を惹きつける工夫がある          B → 本のあらすじや自分のおすすめポイントがわかる</p> <p>②聞き手を意識した話し方          A → 聞き取りにくいところがなく、声に抑揚や緩急があり、目線や身振りなど聞き手を意識している          B → 聞き取りにくいところがない</p> <p>③聞き手の理解を助ける発表資料          A → 本の内容に関わる工夫された資料を効果的に用いている          B → 本の内容に関わる資料を用いている</p>					
まとめ	15分	振り返り	発表を聞いて、最も読みたい本の紹介者を記入する。  以下の点について、自らの発表を振り返る。 ・1回目と2回目の改善点 ・発表前と発表後の話し言葉や分かりやすい話し方の理解への変化 ・今後の言語活動への意識	最も読みたい本を紹介した人を選ばせる。  反省としては悪いところだけでなく、良かったことや成功したこと書かせる。	「記述の分析」 振り返りシートで以下の点を評価する。 ・相手の理解が得られるよう表現を粘り強く工夫する中で、自らの学習を調整し、おすすめの本を紹介しようとしているかを分析する。